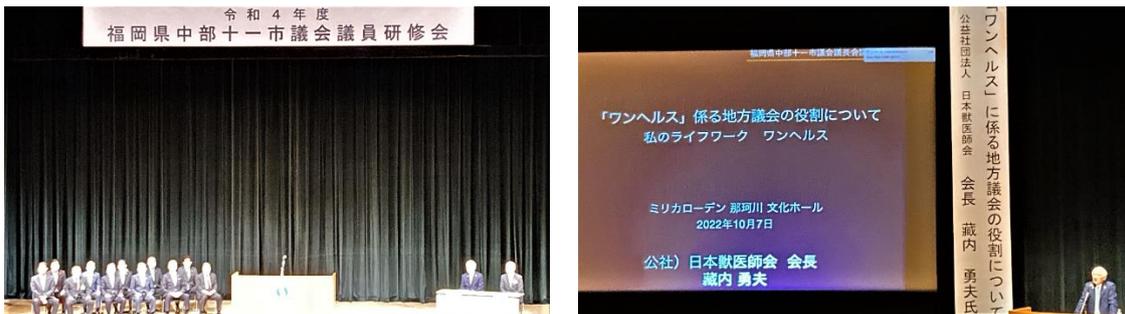


「ワンヘルス」に係る地方議会の役割について：講演!!

藏内勇夫日本獣医師会会長は、令和4年10月7日（金）、那珂川市にある「ミリカローデン那珂川」において開催された、「福岡県中部十一市議会議長会議員研修会」において、『ワンヘルスに係る地方議会の役割について』と題して講演をされました。



「福岡県中部十一市議会議長会」は、古賀市、大野城市、春日市、筑紫野市、小郡市、那珂川市、太宰府市、宗像市、朝倉市、糸島市及び福津市の11議会で構成されており、議会機能の充実向上のための調査研究を行うとともに、加盟市の議員の教養文化を高め、併せて相互の融和に寄与することを目的とされています。

今回の研修会には、議員及び事務局職員の約240名の皆さんが参加されました。



【藏内会長：講演の概要】





福岡県、福岡県議会

福岡県ワンヘルス推進基本条例

2020年6月24日 福岡県議会
人獣共通感染症への対応力の強化に関する決議

2020年12月18日 福岡県議会
ワンヘルス推進基本条例を制定

2021年1月5日公布・施行



服部知事の3つの挑戦の一つ「ワンヘルスの推進」

- ワンヘルスは、人と動物の健康と環境の健全性をひとつと捉え、一体的に守ろうという取組で、国連が掲げるSDGsの目標の多くに関わっている。
- 新型コロナウイルスの戦いに勝った後も、次なる感染症に備えていくために、ワンヘルスの取組をさらに加速。
- 福岡県がワンヘルスの世界的先進地となることを目指し、ワンヘルスを実践する拠点の整備、世界トップクラスの研究者が集う国際会議の開催など、ワンヘルスの取組を実践。

↓

○ 県民の命と健康、動物と環境の健康を守り、健康な地球を次世代の子どもたちに引き継いでいく。

アジア獣医師会連合（FAVA）執行部会議の多くの方々に賛同をいただき、**福岡市にアジア獣医師会連合（FAVA）のワンヘルス事務所を設置することになりました。**

福岡県は、25年前には「アクロス福岡」に国際組織を誘致し、アジアの交流拠点を目指すということで国連の「ハビタット」という組織をナイロビから誘致しました。

アジア獣医師会連合（FAVA）のワンヘルス事務所を福岡に誘致することが出来たら、ハビタットと共同のプロジェクトを立ち上げたいと考えています。

今の時代は政府が創ってくれて、確かに引き継いだものです。しかし、次の時代は子供や孫たちから預かっているものなのです。

つまり、次の時代の子供たちに責任をもって、こういった地球環境・ワンヘルスというものを返さないといけません。それが我々の責任でもあります。

2022年10月11日
福岡ワンヘルス協議会・事務局